

## 新潟職能短大通信

### 新春特別公開講座のお知らせ

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。来る一月十三日、当校におきまして新春特別公開講座を開催いたします。受講料は無料ですので、どうぞご参加ください。

#### 「環境にやさしい自動車の開発とロボット技術」

株式会社いすゞ中央研究所取締役 西村輝一氏

■日時：平成二十二年一月十三日(水)

十三時三十分～十五時

■会場：新潟職業能力開発短期大学校 二階多目的教室

#### ■講演内容

いすゞ自動車の企業戦略  
DMEを使った低公害車の開発  
クリーンディーゼル技術  
ハイブリッド自動車技術  
電気自動車の時代は？  
自動車とロボットの共通点  
ロボットづくりで学ぶ電子制御技術  
二足歩行ロボットの大会「ROBO-ONE」の紹介  
など

#### ■講師紹介



西村輝一  
株式会社いすゞ中央研究所取締役

岡山大学電子工学部修士卒。いすゞ自動車株式会社入社以来ディーゼルエンジンを開発。エネルギー、環境問題の対策技術開発を進め、特にディーゼル燃焼と制御が専門。近年、予混合圧縮着火燃焼において自動車技術会の論文賞を受賞など。  
DMEエンジンの開発推進DME自動車普及推進委員会副委員長

「ROBO-ONE委員会」代表

「全日本ロボット相撲大会」大会委員

「高校生ロボット相撲全国大会」審査委員

お問い合わせ、お申し込みは学務援助課までご連絡ください。

TEL 0254(23)1781 FAX 0254(23)2169

## 「大倉翁と新発田」

川瀬勝一郎



○大正5.10.15 東公園に建立された大倉翁寿像  
総高が10mに及ぶ巨大なものだった

#### 新発田で

#### 大倉喜八郎寿像の建立

新発田が生んだ大実業家大倉喜八郎の功績をたたえ、喜寿記念に新発田の有志と東京の鶴友会によって寿像が建立されたのは、大正五(1916)年十月十五日であった。

寿像の除幕式に於ける委員の清水中四郎氏の挨拶に、「この大材偉人を我が新発田にだすもの実に我が郷土の光栄たり、以て天下に誇るに足る」とある。

寿像は昭和十八(1943)

年五月十五日、

戦時中の金属

回収により供

出された。



○昭和18.5.15 戦時中金属回収により供出した台座から降ろされた大倉翁寿像

戦後、新発田を訪れた文学者松岡譲は、著書「越後あの人この人」に箱に入れられた寿像の頭部を図書館の樓上で見たと書いている。供出の際に頭部を残したと聞いている。

#### 大倉喜八郎の寿像再建

戦後、昭和二十一年(1956)年、大倉翁の寿像が東公園に再建された。製作は前回と同じ武石弘三郎氏である。武石弘三郎八十歳の作。「台座裏面」に「我が郷土が生んだ実業界の世界的偉人大倉鶴彦翁の寿像は……金属回収のため供出されたままであることを遺憾とし有志合謀り……この像を建設した」とある。大倉翁に対する新発田の思いが伝えられるものである。この寿像は現在県立新発田病院前の公園にある。